

平成27年度
(第2四半期)

広貫堂グループ IR情報

株式会社 広貫堂

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

売上面では、前年同期比100.3%の実績でした。これは、グループ会社である日本薬剤への売上が前年同期比106.5%となった反面、CMO事業の売上が前年同期比83.7%と伸び悩んだ結果です。

収益面では、経常利益は前年同期比 4億5,000万円減少しました。これは販売管理費において、新規大型投資経費が3億2,900万円増加したためです。またもう一つの要因として、9月末で広貫堂薬品販売及びトキワ広貫堂に対するの貸倒引当金繰入を7,900万円行ったためです。

(事業運営面)

今年度末には呉羽工場顆粒剤量産設備が完成し、従来の錠剤・液剤・丸剤に加え、顆粒剤の生産体制が整います。この4つのラインを軸とした社内体制を構築していくとともに、本体売上部門による各部門の具体化した施策、戦術を実行して目標達成に向け推進しています。

○ 課題への取組み

大型顆粒剤設備投資に伴う償却費増や新規生産に対処する為の人員増による費用増となっておりますが、「総労働時間に対する付加価値を高める」という課題を掲げ、様々な施策を推し進めてまいります。また、海外拠点においては経営体制を見直し、さらなる協力体制を強化していきます。

○ トピックス、適時情報

- 7月8日に当社ホームページを刷新しました。
- 8月 『Takt 9月号』に『癒楽甘 春々堂』イオンモール高岡店が掲載されました。
- 8月 『02(ゼロニイ)』に山田特産加工組合との共同事業「健菜堂」のエゴマ関連記事が掲載されました。
- 9月 『anan』で「本日開店！anan薬局」という特集で「廣貫堂赤玉はら薬S」が紹介されました。

○ 業績の概況 (広貫堂・単体)(第2四半期、平成27年4月～平成27年9月) (千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	5,747,448	5,645,376	5,980,275	5,999,490
経常利益	68,027	-18,808	-167,134	-617,673

広貫堂グループ

○ 連結経営成績に関する定性的情報

連結売上高は前年同期比104.8%で推移しました。これは日本薬剤の好調な伸長(前年同期比118.8%)によるものであります。

また、販売管理費は前年同期比113.9%となりました。これは新規大型投資による販売管理費が3億2,900万円増加したことによるものです。

経常利益は、前年同期比5億3,300万円の減少となりました。この要因としては、販売管理費に加え、売上原価において、製造経費が高くなっていることが挙げられます。

○ 業績の概況(広貫堂グループ・連結)(第2四半期、平成27年4月～平成27年9月) (千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	7,372,013	6,959,246	7,338,189	7,687,686
経常利益	-110,629	106,077	-149,499	-683,027

平成27年度
(第2四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

薬都広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第1四半期から引き続き、虔脩本方六神丸S、熊膽円S等の既存配置製品および100mLドリンク剤が販売増となり、売上高は前年同期比100.6%の13億5,700万円となりました。しかしながら、経常利益はマイナスで推移しております。

(事業運営面)

配置市場のニーズに応じた企画提案・販売活動を積極的に推進し、また、製品とサービスを融合させた、新配置ビジネスモデルの構築に取り組み、業績回復につなげてまいります。

○ トピックス、適時情報

新発売製品(7月~9月)

「DHA+EPA+DPA+イチョウ葉エキス」:健康食品

○ 業績の概況 (第2四半期、平成27年4月~平成27年9月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	1,716,383	1,478,955	1,349,665	1,357,795
経常利益	-6,978	72,863	-25,706	-40,650

日本薬剤 株式会社

○ 事業の概況 (事業運営、業績等の概況)

(財務面)

売上高は、100mLドリンクの販売増や清涼飲料水など新製品の販売が寄与し、前年同期比118.8%の30億600万円となりました。経常利益は前年同期比139.0%の3,000万円となりました。

(事業運営面)

昨年のような天候不順も無く100mLドリンクなどの売上は順調に推移しました。

○ トピックス、適時情報

新発売(4~9月)

医薬部外品 100mLドリンク 2アイテム

医薬品 葛根湯内服液45mLタイプ 2アイテム

食品 500mL清涼飲料水 1アイテム

○ 業績の概況 (第2四半期、平成27年4月~平成27年9月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	2,389,025	2,562,402	2,530,061	3,006,628
経常利益	67,927	65,236	22,034	30,624

平成27年度
(第2四半期)

広貫堂グループ IR情報

グループ各社

広貫堂薬品販売 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

第2四半期(4月～9月)では売上高前年同期8億6,900万円に対し8億4,200万円、前年同期比96.9%となりました。利益面では前年同期△9,500万円に対し△7,800万円にて推移しました。

売上面での減少の要因は、7月末に4営業所の再編成により△3,100万円となっております。また利益面では売上高の減少による売上総利益の減少△1,300万円、また経費面の減少により△3,000万円となりました。

(事業運営面)

赤字体質の脱却の為、4営業所の再編成をし、エリア戦略の見直しを行いました。一時的な経費増はあるものの、来期以降の赤字幅の低減に資するものとなる見込みです。

○ トピックス、適時情報

第1四半期より取組を開始した希釈飲料が好調で、販売数にして昨年7,343本、本年11,199本、昨年対比+4,000本 売上にして昨年26,400千円、本年42,090千円、昨年と対比してほぼ倍の売り上げを記録しました。配置の業態改革の一環として行っているJA小矢部とのコラボに新たに「27年度米」を追加しました。

○ 業績の概況 (第2四半期、平成27年4月～平成27年9月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	975,417	1,005,810	869,074	842,280
経常利益	-111,094	-68,495	-94,909	-77,852

トキワ広貫堂 株式会社

○ 事業の概況 (業績、事業運営等の概況)

(財務面)

販売面においては、前年同期比98.1%予算計画比94.7%となりました。経費面につきましては、販売費及び一般管理費等のコスト削減に努めて前年同期比81.0%となりました。経常利益は、△204万円に対して△114万円となりました。

(事業運営面)

7月より新規取扱い商品として「補酵素の力」を採用し、拡売に努めました。又9月より葛根湯内服液、ファイトタイムなど風邪対策商品の置き込みを開始しました。

○ トピックス、適時情報

1. 平成27年8月6日10:00よりトキワ廣貫堂株式会社第3回取締役会が開催されました。

○ 業績の概況 (第2四半期、平成27年4月～平成27年9月)

(千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
売上高	109,262	108,431	111,480	109,331
経常利益	-19,095	-15,564	-13,953	-1,146